

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成29年4月1日～ 令和4年3月31日)

1 基本情報

施設名称	富田さとにわ耕園 (千葉市富田都市農業交流センター)
条例上の設置目的	都市部と農村部の交流を図るとともに、農業を振興することにより、地域の活性化に寄与することを目的とする。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	都市農業交流センターを活用し、都市部の住民が自然にふれあう機会を増やすことに加え、地域農業の振興を目的とする。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	都市部の住民が自然と触れ合う場所を提供することに加え、研修室を活用した農業研修やイベント等のソフト事業を展開し、利用者に農村部の魅力をPRする。
制度導入により見込まれる効果	都市部と農村部の交流や農業振興を促進し、市民サービスの向上の効果を見込んでいる。
指定管理者名	富田町管理運営組合
構成団体 (共同事業体の場合)	
指定期間	平成29年4月1日～ 令和4年3月31日 (5年)
所管課	経済農政局農政部農政課

2 成果指標等の推移

(1) 来場者数110,000人の達成 (成果指標1)

	29年度	30年度	1年度	2年度	合計
実績値	124,320人	113,466人	142,544人	86,256人	466,586人
数値目標※	110,000人	110,000人	110,000人	110,000人	440,000人
達成率	113.0%	103.2%	129.6%	78.4%	106.0%

(2) 研修室稼働率20.0%の達成 (成果指標2)

	29年度	30年度	1年度	2年度	平均
実績値	18.6%	18.5%	18.2%	4.4%	14.9%
数値目標※	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
達成率	93.0%	92.5%	91.0%	22.0%	74.6%

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指標	○年度	○年度	○年度	○年度	合計

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

(単位：千円)

			29年度	30年度	1年度	2年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	31,013	31,013	31,996	32,316	126,338
			計画	31,013	31,013	31,996	32,316	126,338
		利用料金	実績	291	277	281	37	886
			計画	242	242	242	270	996
		その他	実績	47	42	47	50	186
			計画	50	50	50	50	200
	合計	実績	31,351	31,332	32,324	32,403	127,410	
		計画	31,305	31,305	32,288	32,636	127,534	
	支出	実績	30,768	30,717	31,467	32,223	125,175	
		計画	31,305	31,305	32,288	32,636	127,534	
収支	実績	583	615	857	180	2,235		
自主事業	収入	実績	5,204	5,402	5,617	4,612	20,835	
		計画					0	
	支出	実績	3,685	4,081	3,877	3,528	15,171	
		計画					0	
	収支	実績	1,519	1,321	1,740	1,084	5,664	
総収入	実績	36,555	36,734	37,941	37,015	148,245		
総支出	実績	34,453	34,798	35,344	35,751	140,346		
総収支	実績	2,102	1,936	2,597	1,264	7,899		
利益の還元額	実績							
利益還元の内容								

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	C	概ね成果目標を達成している。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	年度ごとに社会経済情勢等を鑑み減額した額で運営している。
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	関係法令を遵守し運営されている。また、緊急時の連絡体制等が整えられている。
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	管理運営の執行体制等について、事業計画どおり行われている。
(2) 施設の維持管理業務	C	適正に、施設の保守管理、設備・備品の管理、清掃、警備が実施されている。
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	事業計画どおり行われている。また、ホームページや市政だよりへの掲載、チラシ配布等により施設PRが行われている。
(2) 利用者サービスの充実	C	アンケート調査を行い、利用者の意見や要望に基づき、利用者サービスの充実を図っている。
(3) 施設における事業の実施	C	提案書のとおり、事業が行われている。
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	障害者雇用はないが、積極的に市内業者への発注、市内在住者の雇用が行われている。

総合評価	C
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

研修室稼働率は目標に届かなかったが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響を受けたにも関わらず、平成29年度から令和2年度までの4年間の来場者数の合計は達成率が106%と、目標を達成できている。事業計画どおりに施設管理を行ったことに加え、季節の花々の積極的な整備・管理や大学との共同でのイベント実施、市民対象の体験農園等の多様な自主事業において、都市部と農村部の交流や農業の振興により地域の活性化が図られたと考えている。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

運用における課題・問題点は特にない。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 経済農政局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・新型コロナウイルスの影響を受けながらも、適正な事業運営が行われている。
- ・特に、季節の花々の整備を積極的に行い、年間を通じて花を楽しめ回遊できる場所として運営していると評価できる。このような取り組みは、コロナ禍で容易に外出できない市民の健康維持や憩いの場として活用されており、一層貢献されることが期待できる。
- ・研修室の稼働率については、数値目標を達成できていないが、今後においては、各種イベントやワーケーションでの活用等、利用者の満足の向上に努めていただきたい。